

防災 ひこくメモ

南海地震による津波被害予想  
動画を追加(阿万、沼島、松帆、湊)

防災課 43-5006  
南あわじ市防災ネット  
http://bosai.net/minamiawaji/



沼島漁港に押し寄せる津波。この後、あたり一帯は波に包まれる



▲塩屋川を遡上する津波。阿万中西集落付近  
松帆・湊地区の浸水深をカラーで表示

南海地震による津波で、兵庫県でも甚大な被害を受けるとされる南あわじ市各地の三次元動画を、南あわじ市ホームページで公開しています。

このたび、阿万地区、沼島地区、松帆・湊地区が新たに加わり、既存の福良地区と合わせて4地区の動画が見られます。

この三次元動画は、兵庫県津波災害研究会が調査した津波浸水調査結果を動画にしたもので、安政南海地震(1854年、マグニチュード8.4)を想定し、シミュレーションしています。また、浸水状況を地震発生時からの時間経過で表示し、津波の浸水イメージを再現しています。

この想定を上回る規模の地震や津波が発生する可能性もありますので、浸水想定地域に隣接する地域にも浸水被害がおよぶ可能性もあります。  
▽閲覧方法 南あわじ市のホームページを「防災情報」→「災害対策」を順にクリック

環境破壊を続けていませんか？  
下水道の早期接続を

南あわじ市では、現在、市内各地で下水道の整備を行っています。

下水道事業と聞くと、大半の人はトイレを連想されると思います。しかし、家庭からの排出汚水の70%は、洗剤等を含んだ台所や風呂などからの汚水が占めています。

市販されている洗剤は、合成洗剤が一般的で、水中のバクテリア



などの微生物への毒性が強く、生態系に悪い影響を及ぼします。  
水質悪化が招く悲劇  
下水道をつなげていない家庭では、これらが川に放流され、海に流されていきます。近年



▲洗剤等で汚染された川(市内)

赤潮の大量発生や青潮の発生の原因になり、水質汚濁を招く大きな要因です。また、汚水は地下にも浸透していき、井戸を汚染し、飲み水等に大きな悪影響を及ぼします。一度土質が悪化すれば、二度と

元には戻りません。人間の身体は70%は水分です。その生態維持のために、一日2リットルの量の水を摂取する必要があります。人間が生存するためには水の量と質の確保が不可欠なのです。水質の悪化は、自分の首を絞める行為なのです。先祖から譲り受けたすばらしい自然を次世代に継承していくためには、地域全体で対応していかなければなりません。

下水道に早期の接続を

家庭の汚水を下水道に接続するためには、大なり小なり建物を含め敷地内を改造しなければなりません。それぞれの家庭においては、金銭面を含め大変なことです。南あわじ市では、できるだけ家庭の負担を軽減するため、下水道の供用開始後2年以内下水道に接続される家庭に対し、早期接続者奨励金制度や、水洗便所改造等資金の利子補給制度を設けています。

下水道への接続工事は、市が指定した排水設備工事指定工事店に見積等をとっていただき、工事を進めてください。企業経営課 ☎50・3037

犯罪や非行のない社会を目指して



▲作文を読む中学生の部最優秀賞の山本さん

犯罪や非行のない明るい社会を作ろうと、南あわじ市保護司会や更生保護女性会らで組織する「社会を明るくする運動」南あわじ市実行委員会が、小・中学生を対象に作文を昨年七月に募集。市内から四百点近くの作品が集まり、この中から優秀作品が選出されました。その表彰式と発表会が一月二十日、西淡公民館で行われました。

作文発表では、この作文も、子どもたちの素直な気持ちがこもった力作ばかりで、朗読後、会場に詰め掛けた参加者から温かい拍手が送られました。(1頁にコンクール結果)

1件寄付ありがとうございました

沼島にAED初配備

日赤支部から寄贈

日本赤十字社兵庫県支部からAED(自動体外式除細動器)一台が寄贈され、十二月二十六日、沼島ターミナルセンターに配備されました。市では、学校や公民館など公共施設にAEDの設置を進めています。沼島地区には初の配備になります。



▲福祉課長からAEDを受け取る島津会長(右)

この日、佃南あわじ市福祉課長から島津弘沼島自治会長にAEDが手渡され、市職員が操作方法などを説明。また、同地区では一月二十二日に、各種団体から約四十人が参加して、救命講習会が開かれました。

高野さんから玉青館へ絵画等を寄贈



▲高野さん

このほど、高野洋子さん(大阪府在住)から、「直原玉青善緑コレクション展II」高野コレクションからの開

さくら苑に寄付金

次の方々から浄財を頂戴しました。有効に活用させていただきます。

◆中元金太郎様(大阪府)から さくら苑を退所され、その後亡くなられた坂東たねさんの供養のため。

◆沖俊作様(福良)から 施設のために役立ててくださいと申出がありました。  
◆志知高校PTA会長から 同校文化発表会のチャリティーパーサーの収益金の一部。

のいずれも大変貴重な美術品をご寄付いただきました。高野さんは、三十数年間もの長きにわたり直原画伯に師事し、画塾青玲社の機関誌「青玲」の編集を創刊当初から手がけられた高弟の一人です。この展覧会は、高野さんのこれらのコレクションを展示したもので、昨年十一月に盛会のうちに終了しました。

河平会から南あわじ市へ寄付金

十二月十七日、淡路地域の活性化に取り組む河平会(河野佳史代表)から南あわじ市へ、寄付がありました。これは、十二月九日、阪

神タイガースの選手などを招いて行った野球教室のときにチャリティーを実施。集まった金額を、島内三市に分けて寄付されたものです。



▲直原玉青画「島小春慶野松原図」

市では、今後社会体育備品購入など、有効に活用させていただきます。

人事異動

1月1日付。( )は旧所属。市民生活部次長兼総務部三原総合窓口センター所長 堀川雅清(市民生活部次長)、総務部付次長 榎本芳史(総務部三原総合窓口センター所長)